松戸支部

支部長　大和田 順一

松戸市は、今年6月に人口50万人に到達し、千葉県内で3番目に多い市町村となりました。

そして松戸支部は、松戸市と鎌ケ谷市の2市で構成されており、現在会員数28名で活動しています。

支部活動としては、松戸市より委託を受け、木造住宅耐震相談会（年10回開催）及び違反建築防止週間における一斉公開建築パトロールへの協力を行っております。

木造住宅耐震相談会は、今年7回の開催を終了しておりますが、能登半島地震が発生したことにより相談員を増員して対応しております。

そして年度内の予約もすでに終了している状態です。

また、定期的に支部役員会を行い本部報告事項確認、勉強会・見学会の計画も行っております。

昨年は、千葉支部の会員さんにお越しいただき勉強会を開催いたしました。

コロナ禍で開催がされない状態だった見学会も来年度には復活できるように準備を進めているところであります。

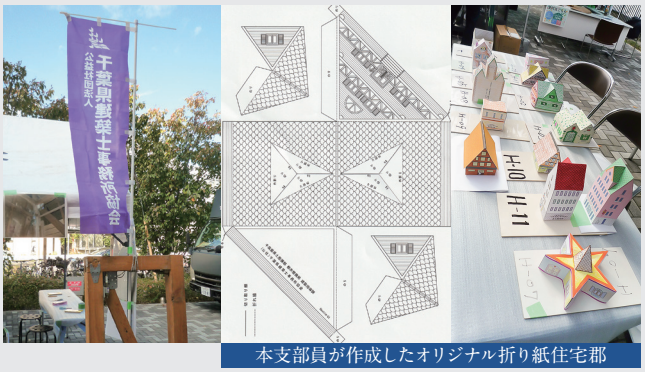
今後は、他の支部との交流を含めた企画も開催できればと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

習志野支部

支部長　久永 誠

習志野市の人口は17万五千人。県内9番目の人口規模です。現在、支部員は17名です。本市の木造住宅無料耐震診断事業の特徴は「出張診断」です。本市に登録した本会習志野支部に所属する耐震診断士が設計事務所と施工会社が2人で組んで、耐震診断を希望して市建築指導課へ予約されたご自宅に直接お伺いし、確認申請図書や図面に基づき、ヒアリングや住宅の現状を目視しながら、一般耐震診断を行い、診断報告書を提出するものです。

耐震診断を希望された市民にとって会場に出向かなくても、申し込むだけで診断してもらえるので好評です。本年度の無料診断件数は現段階で約70件に達し、登録された本会支部員にとっては大忙しで、うれしい悲鳴でした。



本支部員が作成したオリジナル折り紙住宅郡

11月9、10日には「建築キャンペーン」を新市庁舎の屋外広場で市制施行70周年記念「ガスフェスタ」・農業祭に併せて実施しました。本支部会のキャンペーンの特徴は、子供達を対象に住宅を折り紙で作る催しを行い、子供達と共にお立ち寄りいただいた若い親御さん等に本会支部の活動をご紹介するという活動です。子供達は用意された住宅の塗り絵にペンで着色、カットして折り、糊付けして立体の折り紙住宅を作成して楽しみます。毎回、子供達にはたいそう好評です。用意したテーブルには子供達と親御さんでいっぱいになります。

今後も支部会員同士の情報を共有しながら、活動を一層充実していきたいと存じます。